

モジャコ漁場調査

杉本善彦・住友寿明・守岡佐保・長尾和年・
木下雅雄・悦田 明・藤岡保史・原田 純・國井秀人

モジャコ漁業解禁に先立ち、流れ藻及びモジャコの来遊状況と漁場環境について調査を実施した。なお、本調査は平成25年度資源評価調査事業により実施した。

調査方法

1. 調査日 平成25年4月12日、18日及び6月4日
2. 調査船 漁業調査船「とくしま（80トン、1,200馬力）」
3. 調査内容

図1に示した航走ライン上で、目視によって流れ藻を確認し、採集位置、大きさ（長径×短径）及び色を記録した後、網口9.5mのまき網を用いて流れ藻を採集した。採集後直ちに重量を測定した後、流れ藻からモジャコ等の魚介類を分別し、氷冷して水産研究課美波庁舎へ持ち帰った。サンプルは流れ藻毎に魚種査定を行い、モジャコについては個体別に尾叉長と体重を、その他の魚介類は個体数のみを計数した。

その他、古野電気製水温計T120-Eで表層水温の連続観測を行った。

結果

4月は例年に比べて流れ藻が少なく、12日には全く発見されず、18日に蒲生田岬から伊島にかけての潮目でわずかに確認され、1個採集したのみであった。6月4日には5個の流れ藻を採集した。採取地点での表層水温は4月18日では14.4～19.0，6月4日では21.0～24.1，4月12日の航走中の水温は18.5～19.4であった。

採捕されたモジャコの数はいずれも4月18日に47尾、6月4日に26尾であった（表1）。

採捕されたモジャコの尾叉長は、4月18日は16～65mm、6月4日は37～42mmであった（図2）。モジャコ以外にはカワハギ属等の魚類が採集された（表2）。

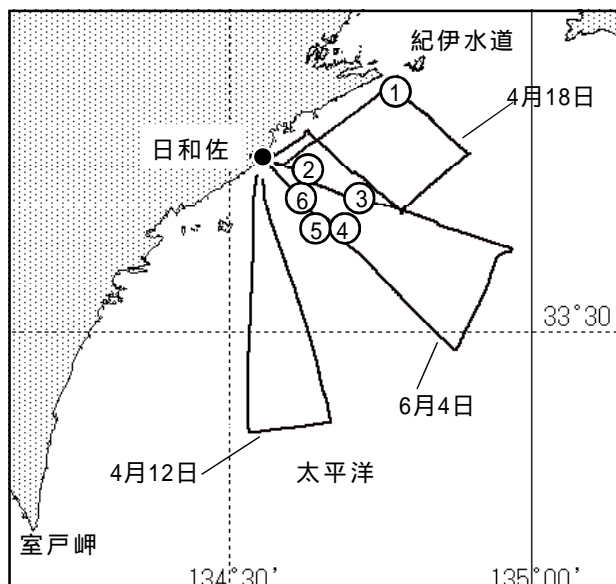


図1. モジャコ調査航跡及び流れ藻採集地点

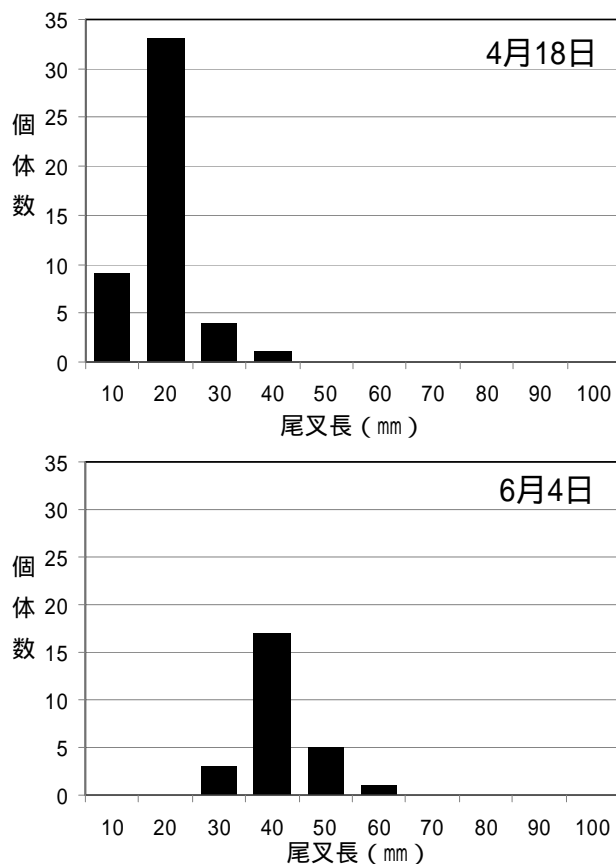


図2. 採捕されたモジャコの尾叉長組成

表1. 平成25年度におけるモジャコ調査の結果概要

採集日	採集地点	緯度経度(世界測地系WGS-84)		表層水温 ()	流れ藻		採集方法	モジャコ 採捕数	モジャコ FL(mm)
		北緯	東経		大きさ	色			
4月18日		33° 49.16	134° 46.06	14.4	1×3m 24.4kg	黄褐色	まき網	47	16~46mm 平均19.4mm
6月4日		33° 42.6	134° 36.81	22.3	1×2m 2.64kg	褐色	まき網	16	39~57mm 平均42.5mm
6月4日		33° 40.3	134° 42.54	23.2	1.5×2m 7.4kg	黄色	まき網	1	65mm
6月4日		33° 38.49	134° 39.52	23.5	1×0.7m 3.6kg	黄褐色	まき網	0	
6月4日		33° 38.38	134° 39.32	23.6	1×1.5m 9.0kg	黄褐色	まき網	0	
6月4日		33° 40.74	134° 36.81	23.2	3×2m 72.1kg	褐色	まき網	9	37~42mm 平均37.8mm

表2. 平成25年度における採集地点別魚種組成

採集日	採集地点	モジャコ	シイラ	ハナオコゼ	カンパチ	カワハギ属	その他
4月17日		47					
		16		2		8	4
		1				21	
6月4日			1				1
							7
		9			1	11	6
合計		73	1	2	1	40	18